

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2024年7月19日

～災害時の対応を親子で考え、学ぶ機会を提供～

体験型防災学習コンテンツ「親子で防災＆保険ワークショップ」を開発

MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、親子が災害時に備えておくべきことを話し合い、学ぶことができる、体験型の防災教育コンテンツ「親子で防災＆保険ワークショップ」※1（以下「本コンテンツ」）を開発しました。

当社は、お客様の防災・減災教育を支援し、災害に強く安心・安全な社会づくりに貢献することで、災害・事故時の補償にとどまらない、新たな価値を提供していきます。

※1：制作協力 株式会社NHKエデュケーション



1. 背景

東日本大震災の教訓を踏まえ、学校での教育のみならず、日常生活に根ざしたより実践的な防災知識・避難行動を学ぶ機会を増やすことが必要とされています。

内閣府が令和4年に行った防災に関する世論調査※2によると、防災・減災の自助取組である「食料・水の準備」「家具の固定」は約40%にとどまり、また、災害に関して「家族や身近な人と話し合ったことがない人」は35%以上、そのうちの約60%が「話し合うきっかけがない」ことを原因に挙げています。

このような中、当社は防災について親子が一緒に話し合い、楽しみながら学べる、本コンテンツを開発しました。

※2：令和6年版 防災白書 <https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r6.html>

2. 本コンテンツの概要

本コンテンツは、親子が防災について同じテーマやシチュエーションで考え方話し、答えを導き出すことを目指しています。NHK Eテレ教育番組「アーラブみー」のキャラクター「みー」を起用することで、子どもたちの興味を引き、親子で防災について話し合うきっかけを作ります。

(1) 「きみならどうする？防災スタンプラリー～こども防災クロスロード～」※3

防災シミュレーションゲーム「クロスロード」※4を活用したスタンプラリーです。

参加者は、「火事のピンチ」「ひなんのピンチ」などのシチュエーションで様々な選択を迫られ、災害時の行動を考える力を養います。

また、参加後に配布する「ピンチをのりこえるヒント集」では、防災知識だけでなく、親子で災害に関連した保険のマメ知識についても学べます。

※3：監修 京都大学防災研究所 矢守克也教授

※4：「クロスロード」はチーム・クロスロードの著作物で登録商標です。

<防災スタンプラリーのイメージ>



(2) 親子ワークショップ おでかけ防災リュック

子どもが普段使用するリュックサックを題材とした体験型のセミナーです。お出かけ用リュックと日常生活グッズが描かれたアイテムカードを使い、災害時の様々な活用方法を学びます。

また、2つの側面（「命を守る」「心を守る」）から必要なグッズを考えるフリーカードを活用し、親子が自分ならではの防災リュックを作り上げることも目指していきます。

<防災リュック・アイテムカードイメージ>



3. 今後の展開

当社は、本コンテンツの地域主催イベント等への出展を通じて、防災・減災と保険の教育推進に取り組み、社会課題の解決に貢献していきます。

以上